



土岐市教育研究所
TEL 0572-54-1111 (内374)
FAX 0572-55-6310
メールアドレス kyoiku@city.toki.lg.jp
所報 No. 577
発行責任者 所長 西尾 実
発行日 令和6年9月17日
題字 長谷川 広和 教育長



撮影

駄知小学校

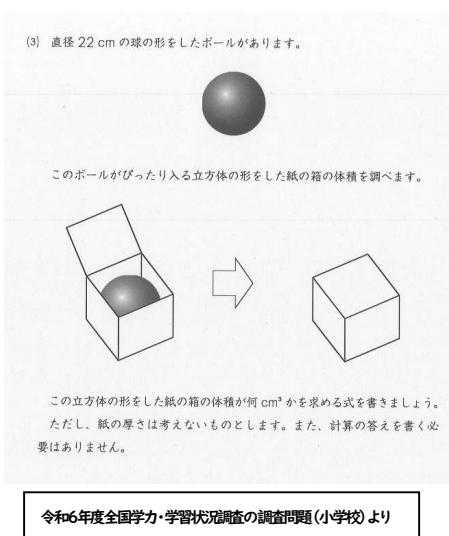
柳原 伸哉
教頭先生

「駄知ふるさと学習 田植え体験」

読み解く力

土岐市教育研究所長 西尾 実

全国学力状況調査の結果が出ました。小学校の算数の問題「知識の習得を問う問題で課題が見られた。」という記事（2024.8.5日本教育新聞）を見つけました。下図のような問題です。直径22センチのボールがぴったりに入る体積を求める式を書く問題の正答率が36.5%（全国平均値）にとどまったというものです。30人学級で11人が正答したという割合を極めて少ないのではと感じた



教員は私だけではないでしょう。立方体の体積は、たて×横×高さ。短い問題文と図から、箱にぴったりに入る立方体の1辺の長さが22センチであるということを読み取り、立方体の辺がどれも等しいという知識を基に、 $22 \times 22 \times 22$ という式を答えることができればよいものでした。

算数だけでなく、読み解力はすべての教科で重視されるものです。池上彰氏は著書「なぜ読み解力が必要なのか？」で、「日本の教育関係者の多くが、それまでの読み解力を国語教育において小説や評論などの文書を正確かつ詳細に読む力だと狭義の見方をしていました。このため、PISAの読み解力の定義には、教育関係者たちの間に驚きが広がりました。」と述べています。

◆読み解力の定義

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発展させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

PISA調査は図グラフ表などの数学的な資料もテキストと捉えており、それを理解し、利用し熟考する能力を読み解力としています。

OECD生徒の学習到達度調査（PISA）より

かくいう私は、読み解力には大変自信がなく、特に評論を読む時には何度も同じ箇所を繰り返し読まないと理解できません。5分とるので資料を各自で読んでくださいと言われると、いつも読んだらりをしています。

そんなことを考えながら、ふと1学期に訪問した小学校で、とても情緒豊かに読み聞かせる低学年の先生の範囲に感動したことを思い出しました。あの読み聞かせこそ、読み解力を育てる原点だと思いました。先生の範囲に聞き入る子どもたちは、言葉を深くかみしめ、情景を浮かべながら、作品に入り込み、自分なりに文章を読み解いていました。範囲を聞いた後の子どもの意見は、すごいだろうなと思いました。子どもが自分の頭をフル回転させて作品を読み解く力を引き出す教師の範囲は、まさにプロの仕事です。そして、一語一文の意味を深く考え、読み解く力を育てる入り口だと思いました。

「読書百遍意自ずから通ず」初めはむずかしくてわからない書物も、辛抱して何度も繰り返して読んでいるとおのずと理解できるようになるという意味です。読み解く力を身に付けさせるために、私たち教師がやるべきことは、どの教科においても、何度も自分で読み返し、言葉や資料からじっくり考える習慣を育て、子ども一人一人の頭をフルに動かせる授業を地道に積み重ねていくことだと思います。

【校長室の窓から】



学年担任制のお話

西陵中学校長
神崎 弘範

徹底解説！

学年担任制

チーム担任制

西陵中学校では、昨年度「学年担任制」を試験的に導入し、今年度から本格的に実施しています。「学年担任制」の概要についてお伝えします。なお、この紙面は西陵中の「学校報」をもとに、作成しています。



【学年担任制とは】

1週間を目安に学年内で担任を交代します。

火曜日～翌月曜日までが1ターンです。

(金曜に連絡したことを月曜に見届けてから交代するシステム)

火曜日の朝、学年朝の会を開きます。

先週の振り返りをし、今週の学級の目標を話したら担任が交代します。

どうして「学年担任制」？

理由は大きく分けて2つあります。

① どの学級も可能な限り同じ経営状況にする

… 均質な教育環境を提供するため

② 多様化する生徒のニーズに可能な限り応えられるようにする

… 個々の先生の苦手なところをチームで補うため

近隣でいえば中津川市や可児市などでも取り入れられていますよ。

「学年担任制」って一般的なもの？

始まりは、2018年東京都麹町中学校

大阪府北豊島中などが参考に導入

富山県南砺市2020年度から市内全小中学校で

鹿児島市HPより

01

ひとりの時、集団の中にいる時、子供たちの立ち振る舞いは、状況に応じて変わります。自我が芽生える思春期ではその傾向が著しく、教師は「集団秩序の管理」と「一人一人の個性の理解と配慮」を両立させることを求められます。

02

変容する子供の行動や態度を見守るには、カウンセリングマインドによる受容的な対応や気付きを促すコーチング等の細やかな指導が求められます。しかし、大勢の生徒一人一人に対し、教師一人で対応することは簡単ではありません。

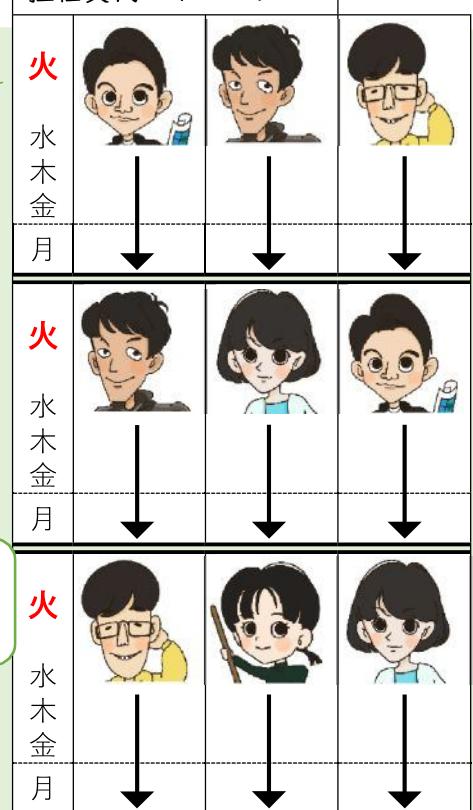
03

「全体を管理すること」と「個に寄り添うこと」は相対するものではなく、共に子供の姿や心の変化を見逃さずに、タイムリーに対応することが大切です。日々の様子を比較できる単独の担任の方が変化に気付きやすい面はありますが、毎日、子供と接していることで見慣れてしまうこともあります。

04

複数の教師による担任制は、「多くの異なる視点で変化を見取ること」や「子供が話しやすい教師に相談できること」で、いち早く問題に気付き、一人一人に応じた支援をチームで行うことをねらいとしています。

担任交代のイメージ



要するに...

担任の先生には、学級全体を安定させることと、一人一人きちんと見ることを両立させることが求められます。

一人一人の生徒をきちんと見るのはかなりのテクニックが必要であり、難しいんです。

どうしても、見落としてしまうことがあります。

多くの先生で見ることで、見落としを減らし、一人一人に丁寧に対応したいです。

昨年度末の生徒アンケート

来年度以降、学年担任制を継続したいか？				
	1年 ※現2年	2年 ※現3年	合計	
今後も継続してほしい	25.9%	25.0%	25.4%	肯定意見 82.9%
継続してもいい	55.2%	59.2%	57.5%	
継続しない方がいい	8.6%	11.8%	10.4%	否定意見
継続して				

【肯定的な意見】

- いろいろな先生と仲良くなれる。
- 担任じゃない先生に相談しやすくなった。
- 多くの先生から意見がもらいやすくなった。
- 先生に頼らず自分たちの力で学級がまとまるとしている。
- いろんな先生の話を聞けた。
- 生活ノートでのやり取りが面白かった。
- 話しやすい先生の時は助かる。
- 自分のクラスのことを4人の先生で別の視点から話してもらえてよかったです。
- 学級担任の先生が自分に合わないときに助かる
- 教科担任に質問しやすくなり勉強のことを聞いて良かった。



【否定的な意見】

- ①先生によって指導の仕方が違って困った。
- ②用事のある先生を探すのに困った。
- ③1ターンにつき2～3週間がいい。
- 2～3日では短すぎる。
- ④誰に相談すればいいかわからないときがあった



【今年度の対応】

- ①週に1回会議をもち、職員間の情報交流の機会を増やします。
- ②週の予定表に担任名を明記し、生徒に分かりやすくします。
- ③1週間に1回のローテーションで固定します。週の日数が少ない時は授業日が5日程度となるように調整します。
- ④担当の先生を生徒本人が選びます。

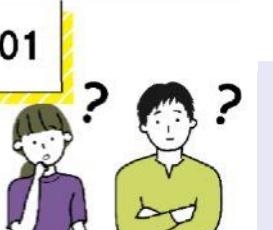
今後も子どもたちの意見を聞き柔軟に対応します

誰に相談すればいいのですか？

Q

&

A



A: 生徒が保護者と相談の上「自分の担当の先生」を選びます。(5月連休明け頃)
基本的に「担当の先生」にお問い合わせください。

学校内で生徒の様子・情報については学校内で共有していますので、学年の先生や教頭・教務主任等にお問い合わせいただいても構いません。



3年生保護者としては進路指導が心配です。

A: 生徒が選んだ「自分の担当の先生」が年間を通じて指導します。
進路指導については、もともと担任だけで行うのではなく、成績や生活の様子、希望する進路などを学年内さらには学校内で情報共有し、複数の目で見ながら、その生徒に合った進路選択ができるようにしています。



【学校が抱える現状】

- 学校で起きる問題や社会からの要請が複雑化、多様化し、金八先生のような超優秀な先生でも一人で対応することは難しくなっています。
- 教員はブラックといわれ、なり手が少なくなっています。
- 学級経営がうまくいかないなどの理由で、メンタル不調となり、休職や退職をする先生が増えています。
- 30代・40代の経験を積んだ先生の人数が全国的に少くなり、年齢構成のバランスが悪くなっています。

そんな中でも

子どもたちに安定した学校生活を送ってほしい。
より多くの目で、多様な問題等に対応していきたい。
職員の負担軽減や、未来の教員に向けた仕組みづくりがしたい。

これらの願いに対応できるのが
「学年担任制」と考えています。



【特別支援教育】

子どもの困り感に寄り添った支援体制づくり～ティーチャーズトレーニング～

学校教育課 保母 征之

ティーチャーズトレーニング（Tトレ）とは、ペアレントトレーニングを教員などの支援者向けに応用したプログラムです。これは、「応用行動分析」という学術的な考えが基盤となっています。

子どもを変えようとするのではなく、大人側が子どもへの対応方法を振り返り、適切な関わりを増やしていくことを目指すプログラムです。発達障がいの子どもだけでなく、全ての子どもに有効です。

応用行動分析学とは、その人の行動は、個人と環境（周りの人や物）との相互作用の結果と捉えるものです。行動上の問題の原因を発達の遅れや偏り等のせいにせず、関わり方の工夫で解決を図るというものです。

先ず、子どもの様子を「行動」で捉えること・表すことが大切です。行動が起きるには、その行動の前に必ず何かのきっかけがあります。そしてその行動の直後に何らかの結果が伴います。結果によって行動は増えたり減ったりします。本人にとってうれしい結果が手に入る、もしくは本人が嫌悪する結果がなくなると、その行動は増加しやすくなります。

【Tトレの4つのステップ】

① 行動を3つに分ける

子どもの行動を「好ましい行動」「好ましくない行動」「許しがたい行動」の3つに分けて考えることが大切です。まずは、好ましい行動を増やしたいです。その後、好ましくない行動を減らす方略を考える方がうまくいきます。

② 肯定的な注目

子どもの「行動」の直後に本人にとってうれしいこと（肯定的な注目＝ほめる）があると、その「行動」は増えていき好循環が生じやすくなります。「ほめる」だけでなく「認める」ことも良い効果が出ます。その際の基本姿勢は、当たり前だと思われる行動にこそ注目してほめます。評価するのではなく、行動を具体的に認めてほめる事が基

本です。そして25%ルールを使います。100%を求めず、トライしたこと、できた部分を評価し、やり始めや途中でほめます。

③ 注目を外す（待ってほめる）を使う

好ましくない行動を減らすために行います。今まで好ましくない行動をすると注意されていたのに、急に注目してもらえない子どもは混乱します。そこで、「〇〇の時は、△△してほしい」と好ましい行動を提案しておきます。どういう場面でどうすると良いか共有することで子どもは納得しやすくなります。無関心を装いながら本人と距離を取り、好ましい行動が少しでも見られたらすかさずほめます。好ましくない行動をしても反応してくれないと、「これでもか」と今まで以上に好ましくない行動がエスカレートすることがあります。注目を外す（待ってほめる）を使う時には、ある程度の覚悟と、組織全体の理解・協力が必要になります。そもそもその行動を変える必要があるのか、よく考えてから行なうことが大事です。

④ 効果的に指示を出す

子どもの「行動」を引き出す前に、「より良いきっかけ」があると、好ましい行動が出やすくなります。「効果的に指示を出す」ためには、分かりやすい言葉がけをすることが大切です。その際に、CCQというテクニックを使ってください。

C : C a l m (穏やかに) 穏やかな口調・表情

→聞き入れやすくなります。

C : C l o s e (近くで) 「自分のことだ」「相手は真剣だ」

→行動しやすくなります。

Q : Q u i e t (静かな声で) 静かに伝える

→落ち着いて聞く態度ができます。

上手くいかない時はその取組を一旦中止し、次のアプローチを考えることが大切です。何より職場内で共通理解を図って実践することが最も重要です。



育てよう！ 3本の木

泉小学校附属幼稚園 田中 英治

本園の教育目標は『元気で明るい子』です。この教育目標の具現のため、『自分でやろうとする子』、『心豊かで丈夫な子』、『仲よくできる子』を願う姿としています。

その姿を分かりやすく保護者や子ども達に伝えるため、今年度より、『やる木』、『げん木』、『だいす木』という3本の木を合言葉とし、イラストで示して活用しています。

4月の入園式で3本の木を紹介し、各クラスに種を3つプレゼントしました。そして、毎月行う園児の意識調査で、その月に子ども達が大きくなったと思う木と、担任が大きくなったと思う木について話し合い、3本の木を生長させています。種から芽が出て、次第に大きくなっていくことで、子ども達が遊びや生活に自ら目標をもつたり、担任が願う姿を明確にし、月や週の計画に反映させたりすることができるようになっています。

また、上記の3本の木の取り組みに合わせ、花壇やプランターで様々な草花や野菜の栽培活動を行いました。実際に植物を育てる経験をしてほしいという願いと、今後の活動（夏の野菜・秋の自然物遊び）の見通しの中で、どんな植物を栽培していくのかを職員で話し合いました。また、3本の木に合わせ、できるだけ種から育てられるように考えました。

夏の野菜は、ミニトマトやキュウリ、ピーマン、大葉などに決め、園児が自分たちで水やりなどの世話をし、収穫した野菜は、全ての子どもが家庭に持ち帰ることができました。

保護者の方からは、「普段は野菜が苦手であまり食べないので、持ち帰った（ミ



ニ）トマトは喜んで食べました。」などの感想をいただき、園での取り組みを家庭とも共有し、食育につなげました。

草花は千日紅や綿花、じゅず玉、おなもみ、風船カズラ、ひまわりを育て、その生長していく過程を観察しながら、秋の自然物遊びに期待を膨らませています。

種をまき、毎日の水やりで芽が出たことを発見したり、日々成長していく野菜や草花などを観察したりして、子ども達の興味関心が大きくなりました。

この活動を通して、“植物が大きくなるには、土や水、おひさまの光や栄養（肥料）が大切なんだ”ということが分かり、3本の木の取り組みでの木を大きくするイメージがもちやすくなり、「友達に優しくしたから、だいす木に水をあげられたよ。」などの言葉が聞かれるようになりました。

今年度初めての試みで、試行錯誤をしながらの取り組みですが、3月には3本の木が下図のように大きくなり、実を付け、種ができ、その種を次の学年にプレゼントしていくようなサイクルにして次年度へとつなげていきたいと考えています。

2学期からも、『やる木』、『げん木』、『だいす木』を合言葉にして、子ども達を育てていきたいと思います。



『やる木』『げん木』『だいす木』と木を囲む、『ひまわり組』『さくら組』『こあら組』『ぞう組』

令和6年度土岐市嘱託研修員会

「やってみたい」を引き出し、「できた」「わかった」と実感できる授業の実現～終末からの授業改善～
実践報告 駄知小学校 谷口 由佳

【日 時】令和6年5月23日（木） 第5校時

【学 級】駄知小学校 3年1組

【単元名】わり算

【本時のねらい】

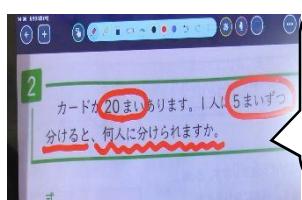
包含除の場面をとらえ、図や式に表す活動を通して、除法の答えを求めるには乗法九九を使えばよいことに気付き、答えを求めることができる。

描く具体的な終末の姿

・練習問題3 ($24 \div 8$ 、 $15 \div 3$)において、8の段と3の段の九九で探せば八三 24、三五 15 となることが分かって、それぞれ $24 \div 8 = 3$ 、 $15 \div 3 = 5$ と答えを出している。

【導入】課題意識

「あれ?」「なぜだろう?」「やってみたい!」

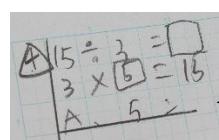


おはじきを使うと大変だから、計算で求められないかな?

問題をつかんだ後に既習内容を想起させ、計算を使えばよいという見通しをもたせる。

【終末】学びの実感

「できた!」「わかった!」「もっと知りたい!」



九九を使えば、数字が変わっても、簡単に答えが出せる!

全体交流でまとめたポイントを使って問題演習をする時間を十分に確保することによって、数値が変わっても問題が解けることを実感し、「できた!」という満足感につながるようにする。

【展開】個別最適な学びと協働的な学び

「～すればよいのかな?」「～してみよう!」「～に聞いてみよう」「そうか!」「なるほど!」

個別最適な学び

教科書やヒントカードなど、課題解決につながるものを見ながら、児童に選択させる。



協働的な学び

自分の理解度に合わせて、ロイロノートに提出させたカードを見ながら、仲間のもとへ聞きに行ったり、考えを交流したりする場を位置付ける。



実践を終えて

- 個人追究で、教科書やヒントカードなど課題解決のための手立てを児童に選択させることによって、自分に合った方法で考えづくりをすることにつなげることができた。
- ロイロノートを使った交流の場を位置付けることによって、手が止まっている児童が仲間のところに自ら聞きに行くなど、主体的に学ぶ姿が見られた。
- 終末に定着の時間を確保することで、本時の学びを他の問題でも試すことができ、学びの実感につなげることができた。

展開詳細

学習内容および学習活動		指導・援助
つかむ	<p>1. 既習事項の復習 ○かけ算(九九)を確認する。</p> <p>2. 問題を把握する</p> <p>問題: カードが20まいあります。1人に5まいずつ分けると、何人に分けられますか。</p> <p>○問題から式を立てる。 ・20枚あるカードを同じ数ずつ分けるからわり算になる。 ・わり算の答えを出すにはどんな計算をすればよいのだろう。</p> <p>課題: 何人に分けられるかをもとめるには、どんな計算をするとよいのだろう。</p>	<p>・等分除の答えを見つける際に、九九を使ったことに触れながら、九九の確認をする。 ・問題文から「分かること」「求めるここと」を整理し、根拠を明確にして立式させる。</p> <p>【導入 課題意識】 20÷5について、おはじき等でも答えは求められるが、時間がかかることから、もっと簡単に求められる方法として計算で求められるようにならうという意識を持たせる。</p>
深める	<p>3. 全体交流</p> <p>・前に1人分はいくつを求めるわり算のときに、ひき算やかけ算を使ったから、今回も使えるかもしれない。</p> <p><ひき算を使って考える></p> <p>1人分… $20 - 5 = 15$ あと15枚分けられる 2人分… $15 - 5 = 10$ あと10枚分けられる 3人分… $10 - 5 = 5$ あと5枚分けられる 4人分… $5 - 5 = 0$ 全部分けきことができた <u>答え 4人</u></p> <p>・ひき算は5枚ずつ順番に引いていけば求められるけど、式がたくさん必要になるのが大変。</p> <p>4. 個人追究</p> <p><かけ算を使って考える></p> <p>1人に分ける… $5 \times 1 = 5$ → 15枚ある 2人に分ける… $5 \times 2 = 10$ → 10枚ある 3人に分ける… $5 \times 3 = 15$ → 5枚ある 4人に分ける… $5 \times 4 = 20$ → 分けきことができた</p> <p>1人分の数 人数 全部の枚数 5枚ずつのカードを□人に配ったときに20枚になる数は… $5 \times \square = 20$ 5の段で20になるのは、5×4のときだから $20 \div 5 = 4$ <u>答え 4人</u></p> <p>5. 全体交流</p> <p>○20÷5の答えの求め方を発表する。</p> <p>・1人分の数×人数=全部の数に当てはめて考えると、1人分の数は5枚、全部の数は20枚が分かっています。人数が分からないので、□を使って式にすると、$5 \times \square = 20$です。□は5の段で20になる数を探せばいいので、4です。</p> <p>6. 類題で確認する。</p> <p>40枚のカードを8枚ずつ分けると、何人に分けられますか。 $40 \div 8 = \rightarrow$ 8の段で探すと $8 \times 5 = 40$ で5 <u>答え 5人</u></p>	<p>・個人追究の際、ロイロノートのカードを提出することで、意思表示をさせ、机間指導やその後のスクランブル交流につなげる。</p> <p>水色…答えが出て、説明ができる 黄色…答えは出せたが、説明の仕方が分からず。 ピンク色…分からず。</p> <p>【協働的な学び】 ロイロノートに提出したカードをもとに、説明ができる児童の元へ聞きに行ったり、より分かりやすい説明を仲間と考えたりするなど、自分の目的によって交流をする場を位置づける。</p> <p>・全体交流では「1人分×人数=全部の数」に当てはめて考えると、$5 \times \square = 20$となり、□を求めるには九九を使えばよいことを確認する。 ・類題を提示し、九九を使えば数字が変わっても同じようにわり算の答えを求められることができることを確認する。 ・今回の包含除の問題も既習の等分除の問題と同じように九九を使って答えを出すことができることを確認し、「わり算の答えは九九で求められる」ことをおさえて、まとめにつなげる。</p>
まとめる	<p>7. まとめる</p> <p>○1人分がいくつかを求めるわり算のときと同じように、九九を使うと簡単に答えが見つけられる。</p> <p>何人に分けられるかをもとめるときは、わる数の九九で答えを見つければよい。</p> <p>8. 評価問題に取り組む 練習問題3, 4を解く。</p> <p>9. 振り返りをする</p>	<p>【評価規準】 包含除の計算について乗法九九を使えばよいことに気付き、答えを求めることができる。(知識・技能)</p> <p>【終末 学びの実感】 評価問題に取り組み、本時の内容の定着を図る。振り返りで自己評価を行い、本時の学びを確認する。</p>

新しいALTの紹介 「Let's enjoy English, together！」

マルケイヒー・アリッサ・リアさん

【First Name : アリッサ】

◆訪問の学校（園）：土岐津小学校、下石小学校、妻木小学校、泉西小学校、
西陵中学校、西部こども園

◆アメリカ合衆国のジョージア州の出身です。北ジョージア大学でアジア文化の
研究と、日本語を専攻しました。趣味は絵を描くことや運動することです。
よろしくお願ひします。



Nice to meet you! My name is Mulcahy Alyssa Leighann.

Please call me Alyssa.

I am from Georgia in the USA.

I studied Japanese Language and East Asian Studies at the University of North Georgia.

I was also a member of the military cadet program in university.

I like drawing and working out.

【サマーセミナー、ありがとうございました】

講師の方々のご理解とご協力の中、無事に終了することができました。ありがとうございました。

希望制ながらおよそ80名の方が参加され、先生方の研修意欲の高さを感じました。受講アンケートからも、講座内容に100%近くの方々から満足、概ね満足と回答いただきました。

危機管理講座においては、弁理士会の皆様から「知的財産に関する研修」と題し、普段学校で起こる著作権に関わる事例を上げ、具体的な対応についてお話を聞くことができ、「子ども達にも聞かせたい。」など、今後の学校教育に役立てようとする内容の感想が多くありました。

サマーセミナーの成果が園・学校現場で生かされることを願っています。



◆中体連等の夏休み中の活動の紹介◆

<全国大会出場者>

陸上競技 肥田中3年 吹春 瞳さん

ソフトボール 西陵中3年 各務 里菜さん 西陵中3年 林 里愛さん 西陵中1年 曽根 光織さん

<東海選手会出場者>

陸上競技 肥田中3年 吹春 瞳さん 土岐津中3年 宮本 芽依さん

柔道競技 駄知中3年 純綾 三志朗さん 駄知中1年 純綾 悠剛さん

ソフトボール 西陵中3年 各務 里菜さん 西陵中3年 林 里愛さん 西陵中1年 曽根 光織さん

水泳 西陵中2年 村上 希愛さん 西陵中2年 勝股 沙耶さん 泉中3年 永井 良磨さん

泉中3年 澤田 侑樹さん 泉中3年 植田 海嗣さん 泉中2年 宮下 秀佑さん

泉中2年 佐藤 領さん 泉中2年 東 桔平さん 泉中2年 藤井 陽太さん

泉中2年 金指 碧夏さん

吹奏楽 泉中3年 塚本 彩歩さん 泉中3年 水野 日登さん 泉中3年 渡邊 里創愛さん

泉中3年 熊谷 帆夏さん 泉中3年 保母 愛莉さん 泉中3年 初鹿 七夏さん

泉中2年 澤田 蒼生さん 泉中2年 大塚 結太さん 泉中2年 加藤 天澄さん

泉中2年 高橋 愛子さん 泉中2年 岩田 朔也さん 泉中2年 高田 みちるさん

泉中1年 和田 紗幸さん 泉中1年 寺澤 采音さん 泉中1年 伊佐治 真帆さん

泉中1年 伊藤 渚彩さん 泉中1年 岩島 舞乃さん 泉中1年 小川 海路さん

「心にひびく言葉」



「彩」

肥田小学校 教頭 佐曾利 和也

かつて勤めた学校に「対話的な学び」を充実させることを願って、様々な形態で話し合うことができるテーブルを完備したスペースができました。そのスペースの呼び名を子どもたちに募集した結果、「『彩』の間」と名付けられました。

教育委員会に勤めていた頃、コロナ禍から抜け出そうとする時期に、当時の課長が校長先生方に、「ようやく学校に少しずつ『彩』が戻ってきます」と仰っていました。

子どもたちの見方・考え方は本当に多様で、そうした考え方に出会えた瞬間にこそ、教師としての喜びを感じます。「『彩』あふれる学校」いつからか、これが私の理想の学校になりました。子どもたちの多様な考え方が表出され、認められ、刺激し合ってさらなる新しい考え方方が生み出され

ていく…そんな授業に、そんな学級・学校にしていきたいと強く思っています。

GIGAスクール構想の波に乗り、急速に学校のICT改革が進み、便利になってきました。働き方改革の波は、第一のターゲットとしてスリム化を断行し、効率性を追求してきました。こうした学校環境の変化の先に、「彩」が生み出されるのだろうか…とよく考えます。

その答えはノーでもあります。便利さ・効率性ばかりに目がくらんでいては、子どもたちの素敵な「彩」に気付くことはできません。子どもたちの声に耳を澄まし、動きに目を凝らし、たくさん共に活動する中で、一つでも多くの素敵な「彩」に気付き、広めることができる教師でありたいと願っています。

掲示板

【土岐市児童生徒科学作品展 金賞受賞者】

さばし あおい (土岐津小1年)	つちもと しゅんた (泉小1年)	室井 あかり (妻木小2年)
ほりお みちひろ (泉小2年)	ほりお のぶひろ (泉小2年)	宮地 亮輔 (土岐津小3年)
鍋島 悠希 (妻木小3年)	伏屋 ちはや (駄知小4年)	伊納 康晴 (肥田小4年)
三宅 里奈 (肥田小4年)	大橋 晴人 (妻木小5年)	井戸 菜津歩 (駄知小5年)
堀 こさと (駄知小5年)	小山 悠琉希 (土岐津小6年)	石塚 智子 (妻木小6年)
伊納 多恵 (肥田小6年)	井上 耕助 (泉小6年)	桐山 叶夢 (駄知中1年)
小山 凜咲希 (土岐津中2年)		

【土岐市社会科課題追究学習作品展】

〔最優秀賞〕高橋 咲 (泉西小6年) 〔優秀賞〕加藤 駢 (土岐津小5年) 加藤 るい (西陵中1年)

【土岐市読書感想文コンクール 金賞受賞者】

中野 心陽 (泉西小1年)	平賀 美有 (土岐津小2年)	楓 果純 (肥田小2年)
渡邊 萌紗 (妻木小3年)	渡邊 惟花 (妻木小4年)	笛岡 咲楽 (泉小4年)
楓 葵結 (肥田小5年)	安藤 憲悟 (泉小5年)	河合 純那 (濃南小6年)
高椿 ひまり (泉中1年)	山崎 柚來 (西陵中3年)	野々村 美星 (駄知中3年)

【土岐市発明くふう展】

くふうの部

〔土岐市長賞〕長江 侑飛 (駄知小5年)	〔土岐市議会議長賞〕富田 莉王 (妻木小5年)
〔発明協会土岐支会長賞〕井上 真那 (泉小3年)	〔土岐市地域振興部長賞〕ふせや いつき (駄知小2年)
〔土岐市教育長賞〕武藤 翔来 (下石小6年)	
〔奨励賞〕後藤 明日奈 (土岐津小3年)	神谷 昂 (土岐津小2年)
長谷川 実 (肥田小1年)	宮村 彪馬 (泉西小5年)

絵画の部

〔土岐市長賞〕福岡 剛毅 (駄知中1年)	〔土岐市議会議長賞〕福岡 彩葉 (駄知小5年)
〔発明協会土岐支会長賞〕橋口 あおい (泉西小3年)	〔土岐市地域振興部長賞〕堀 こさと (駄知小5年)
〔土岐市教育長賞〕楓 果純 (肥田小2年)	
〔奨励賞〕千田 桃愛 (泉中2年)	佐長谷 光紀 (駄知小6年)
佐長谷 有香 (駄知小4年)	楓 智尋 (肥田小4年)